

米沢有為会 東京支部だより

vol.23

発行／(公社)米沢有為会東京支部 発行人／鈴木 信之 発行日／令和元年12月20日
〒182-0004 東京都調布市入間町1-36 東京興譲館内 TEL/FAX 03-3309-3302
米沢有為会ホームページ <http://www.yonezawa-yuuikai.org/>



東京支部園遊会 笑顔の記念写真
2019年11月3日

巻頭言



「寮生活の意義」

東京鷹桜同窓会会长

[旧制高校の真髄は寮に在り！]

数年前まで、旧制高校の「寮歌祭」が毎年開催されていたことは、テレビのニュースなどを通して、諸兄におかれても、ご存じだろうと思います。なぜ90歳過ぎの年配者が、昔の寮生活を懐かしがって、精一杯の声を振り絞って寮歌を歌っているのだろうか？単にノスタルジアに駆られての行為なのだろうか。皆様は、そんなことを考えてみられたことはおありでしょうか？

私は、往年の旧制高校生たちにとっては、数年間過ごした「寮生活」の中で、各自のアイデンティティの形成がなされたのだと思っております。だからこそ彼らは、半世紀以上経っても、寮生活の時代が忘却がたいのだろうと考えています。

[学問の真の目的とは？]

学問は、何も偏差値の高い大学に入って、一流の会社に入社するだけにあるではありません。人間にとて一番大切なことは、「人生観」を確立することにあります。人生観が低ければ、その方は低調な人生を歩まざるを得ませんし、反対に人生観が高ければ、さほど経済的に恵まれなくても、それぞれが納得する人生を送ることが出来るはずです。さてその「人生観」ですが、名著をたくさん読むことや、大学の授業を熱心に聴くことによってのみ得られる訳ではありません。それ以上に大切なことは、同輩や先輩、後輩と、これから生き方について、夜を徹してディスカッションをする中で得られると

工藤 美知尋

思います。「こんなにも純粋な奴がいるか！」とか、「彼は今からこんな大きな夢を持っているんだ」ことなどを知ることによって、「凄いな。自分も負けちゃいられないな・・・・」と思って、自己研鑽に励む。そんなことがその後の人生にとってどのくらい大事なことなのか。青春のまっただ中にいる時はわからないでしょうが、70歳過ぎて、ふとこれまでの自分の人生を回顧してみた時に初めて気づくことだと思います。

[米沢有為会に期待する！]

「米沢有為会」は、置賜地方の青年たちに対して、寮の運営と奨学金の支給を柱として育英事業を展開していますが、これほど意義ある事業を、私は知りません。これまで私は長井高校の同窓会である「東京鷹桜同窓会」や「ふるさと長井会」の役員会で、学生寮の建設を主張してきましたが、残念ながら学生寮が何故必要なのかについて理解する方が殆どいませんでした。今春、初めてこの「米沢有為会」の活動を知り、心から賛同し、すぐに入会しました。寮を卒業した若人がこれからどのような人間に成長するのか、今から楽しみにしております。

【プロフィール】

1947年 長井市生まれ、72歳。県立長井高校卒業、日本大学法学部卒、同大学院法学研究科政治学専攻修了、ウィーン大学留学、東海大学大学院政治学研究科博士課程修了、政治学博士。、ふるさと長井会理事。日本ウェルネススポーツ大学教授(政治学、文章表現)

平成30年7月7日(土)
於・東京興譲館

一步踏み出しますか!

美術家・NPO未来クリエート21理事長 伊藤 育子

1960年代から始まつた核家族化が日本の歴史上大きなターニングポイントである。当時家付きカーフィー付きババ抜きが流行った。それで嫁さんは自由を得た。じいちゃんばあちゃんを抜くことで子供達は何を失つたか。じいちゃんばあちゃんがいるときは、子供達はいろんな愛を受けていた。父母に怒られても逃げ場があった。核家族になつて子供にかけられる愛情や言葉や目や手などすべて半分になつた。その結果愛着障害がおきてる。反抗期がないとか心の中の欠けた部分がいつどんな形で現れるかわからない。学校でも、心に病を持つ子供や先生が多い。県庁の職員でも人事異動で新しい職場に来れない人がいる。叱られる事に慣れていない。そこから落ち込んで立ち直れない。静岡県内の若い人達2千人にアンケートをとつた。世の人達のため何かをやりたいと答えたのが73%いました。国際的な調査がある。自分の存在が人に喜ばれているし、私は愛されているという自己肯定の国別の割合である。日本は7割、韓国6割である。

アメリカで1年間教員をしました。アメリカの学校では、社会貢献活動が授業の単位としてある。下宿していた銀行の頭取は、毎日お昼休みに帰ってきて近所のおばあちゃんの用事をやつしていました。ステータスを決めるのは、社会貢献活動をどれだけやってきたかにによって決まる。どんなにお金持ちでもこれをやった。核家族になつて子供にかけられる愛情や言葉や目や手などすべて半分になつた。その結果愛着障害がおきてる。反抗期がないとか心の中の欠けた部分がいつどんな形で現れるかわからない。学

校でも、心に病を持つ子供や先生が多い。県庁の職員でも人事異動で新しい職場に来れない人がいる。叱られる事に慣れていない。そこから落ち込んで立ち直れない。静岡県内の若い人達2千人にアンケートをとつた。世の人達のため何かをやりたいと答えたのが73%いました。国際的な調査がある。自分の存在が人に喜ばれているし、私は愛されているという自己肯定の国別の割合である。日本は3割、アメリカ8割、中

一方介護制度による支援はこの数年、その対象となる範囲がますます狭められている。私は13年前、介護制度の対象にはならないが、ちょっと困難をかかえている方々に手を差し伸べるNPO「未来クリエート21」というボランティア団体を立ち上げた。私の仕事は事務所の家賃と電話代を稼ぐことである。行政の手の届かない隙間を埋める活動と位置づけ、退職してもまだ元気な方々250人が協力会員となつて「困った

アイアワードの活動を始める。優れた活動をしている団体の表彰を投票で決める。おかげで各学校がボランティア活動を始めた。人の核の部分は変わらない。立場が人を育てる。その立場になるとなれば、自分が浮かんでくるから不思議である。全県下で声かけ運動は20年続いている。主に退職された方々にやつてもらっている。地域の人達が子供に声を掛けると万引きなどの不良行為も少ないとあります。

20年続いている。主に退職された方々にやつてもらっている。地域の人達が子供に声を掛けると万引きなどの不良行為も少ないとあります。今日は日本の高齢社会は負を重ねて走り続けている状況である。静岡県の高齢者のみの世帯は静岡県の場合は、過去5年、年間8千世帯ずつ増え続けてきた。



一方介護制度による支援はこの数年、その対象となる範囲がますます狭められている。私は13年前、介護制度の対象にはならないが、ちょっと困難をかかえている方々に手を差し伸べるNPO「未来クリエート21」というボランティア団体を立ち上げた。私の仕事は事務所の家賃と電話代を稼ぐことである。行政の手の届かない隙間を埋める活動と位置づけ、退職してもまだ元気な方々250人が協力会員となつて「困った」アイアワードの活動を始める。優れた活動をしている団体の表彰を投票で決める。おかげで各学校がボランティア活動を始めた。人の核の部分は変わらない。立場が人を育てる。その立場になるとなれば、自分が浮かんでくるから不思議である。全県下で声かけ運動は20年続いている。主に退職された方々にやつてもらっている。地域の人達が子供に声を掛けると万引きなどの不良行為も少ないとあります。今日は日本の高齢社会は負を重ねて走り続けている状況である。静岡県の高齢者のみの世帯は静岡県の場合は、過去5年、年間8千世帯ずつ増え続けてきた。

(プロフィール)

伊藤 育子のスマイルメソッド大賞」をつくる。認知症に一番良いのは、麻雀である。80代のばあちゃん達が会話を楽ししながら熱中している。

米沢興譲館高校 昭和37年卒
業 東北大学教育学部卒業
元島田市立初倉南小学校校長
元静岡県議会副議長(女性初)
公益財団法人ふじのくに未来財団理事長
富嶽ビエンナーレ展大賞受賞
・安井賞で6回ノミネート
旭日双光章受章

著書
(出版元 静岡新聞社)

脳を活性化して長生きをする秘訣は、①人に会つて会話をする。②いろんな会合に出ていろいろ人に会う。③笑うことの三つだそうです。面白い顔をみて本人は知つてしまつた。それならばやりたいことを全部やつて死のうと決めたが、見舞いに来てくれた三味線や日本舞踊始め、発表会の着物を自分でいくつも縫いました。医者の予想に反して、93歳まで長生きをした。結局、人生は、やるかやらなければ決まる。

いかで決まる。
人前に出るときは、その場に合わせて洋服を着る。地上に出ている部分は演技である。自分の根っこにある部分は、私の絵である。本職の部分では、その場で花を咲かせるしかない。縦の出世は、自分が評価する。横の出世は、人に繋がる事である。自由自在である。自分が出来ない事である。自分が出来る事である。自分はたわいのない事である。自分が出来ないことをやれる人は負けないものを持つ。担任している子供達には、成績なんかどうでもよい。あんたは何が出来るのか。人の為になるのならばなんでもよい。オンリーワンで良い。私は、鈴木自動車の鈴木治さんと親しい。それだと一致しました。インドに出たのは、オンリーワンである。トヨタや日産と競争したつて負けるに決まつてます。

平成30年11月17日(土) 於・東京興譲館

「A I I O T が変える社会」

米沢有為会理事 五雲寺 卓
(元・富士通TEN代表取締役社長)



A Iについて

A I（人工知能）は一九五六年ダートマス会議でジョン・マッカーシー（米国）により命名された技術であり、第一世代、第二世代を経て現在は第三世代を迎えています。第三世代の特徴は、ディープラーニング技術（深層学習）の発達であり、これによりA Iの実用的価値が高まり、A Iの普及に弾みがついています。ディープラーニングとは、人間の神経回路網を模した機械学習で、大量のデータがあれば人間の力なしに機械が自動的にデータから特徴を抽出してくれる学習法です。

A Iは現在、交通、医療、物流、オフィス事務、工場等、様々な社会領域で大きな成果（創造性、新規性、効率化）をあげており、具体的には自動運転、がん早期発見、創薬、事務・工場のデータ解析・処理等で使用されています。

一方、A Iはまだ発展途上であり、例えば解析過程がブラックボックスになつております。また与えるデータの量により結果に差が出るという問題もあります。これらの問題を解決すべく現在様々な研究がなされています。

I O Tについて

物、人、サービス、情報などがネットワークを通じて大規模に連動することで、新たな価値が生まれます。この時代を迎えています。I O Tの仕組みですが、多くのセンサー類で情報を収集し、その情報をインターネット経由でデータセンタ（クラウドとも呼ばれます）に蓄積します。

そこで、データを分析・学習して、その結果を工場の機械設備や家電や建設現場の無人建機や交通の信号機などにフィードバックし、それらを最適な状態で稼働できる様にしています。

社会変革について

以上、A I、I O T、ビッグデータを紹介しましたが、今後の社会はこれらの三つの技術に加え、ロボット、量子コンピュータ、ナノテクノロジー、生物工学等の新興技術が牽引する第四次産業革命を迎えると言われています。

第四次産業革命では、従来では考えられなかつた新しい価値を有する製品やシステムが出現すると共に、世界中の数十億の人々をウエブ（インターネット）に繋ぐことで、事業と組織の効率性を劇的に改善し、また自然環境の再

ビッグデータについて

ビッグデータとは、従来のデータベース管理では記録や保管や解析が難しい巨大なデータ群を言います。そのデータの大きさは数十テラバイト（テラバイト＝千ギガバイト）から数ペタバイト（ペタバイト＝百万ギガバイト）と途方もない大きさです。

パソコンで作成される文書やメール等のオフィステーデータ、ウェブ上に配信される音声や画像等のマルチメディアデータ、POSデータ等のオペレーションデータ、温度、加速度、位置等を検知するセンサーデータなど日々生成される大量のデータから成ります。

A IやI O Tはこのビッグデータを活用することでその役割を果たしており、情報化社会には不可欠な要素です。

まとめ

以上のように、A IやI O Tは人類の進歩に大きな夢を与えますが、一方深刻な問題も顕在化し始めており、この問題を克服して初めて人類に真の幸福をもたらすと確信します。

（プロフィール）
米澤有為会東京支部だより 2019 DECEMBER Vol. 23

生に役立つとされています。

一方、これらの技術は、私たちの働き方に影響を与える、ここ十五二十年の間に日本の労働人口の四九%の職業が

A Iにより取つて代わられ、人は新たな職業を選択する必要に迫られるとの報告があります。これらの社会変革に備える目的で、日本はじめ世界主要国では政府レベルで様々な戦略を打ち出しています。日本政府は昨年A Iの総合戦略策定会議で、教育改革、研究開発、社会変革のテーマで具体的に検討を進めると発表しました。

他方、A Iは、A Iの能力が二〇四五年人間の能力を上回ると予測される「二〇四五問題（シンギュラリティ）」を抱えています。そしてこの問題に対処するため、既に米国企業による「非常ボタン」の研究・開発が始まっています。人工知能学会が倫理綱領（A I研究者の守るべき倫理）を発表しました。

（プロフィール）

一九六八年三月
一九七四年三月
一九七四年四月
ニ〇一一年六月
米澤譲館高等学校卒業
山形大学大学院電子工学修士課程修了
富士通株式会社入社
㈱富士通TEN代表
取締役社長

東京支部の各行事報告

支部総会・新入生歓迎会

支部新年会・予餞会

平成二十一年二月十日に、「主婦会館プラザエフ」で、出席者五十名の会合となりました。五雲寺卓理事の司会で鈴木信之支部長の挨拶の後、上杉邦憲名誉会長と大滝則忠会長よりご祝辞を頂きました。館長より今年の寮生の卒業生は、四名の報告がなされました。

卒業寮生より進路先と抱負を述べてもらいました。その後名誉会員下條泰生様のご発声で乾杯し祝宴に入りました。宮坂孝夫副支部長の中締め挨拶で終了しました。

寮生と上杉名誉会長ご夫妻



米沢有為会創立百三十周年記念の東京支部行事

令和元年六月二日

主婦会館プラザエフ
記念講演会 テーマ

「上杉茂憲公の沖縄県令時代」

講師・上杉邦憲

宇宙航空研究開発機構名誉教授
☆講演内容は米沢有為会ホームページ東京支部の上杉邦憲名誉会長の講演資料の「こちら」をクリックしてご覧下さい。

ーージ東京支部の上杉邦憲名誉会長の講演資料の「こちら」をクリックしてご覧下さい。

東京支部総会・懇親会・歓迎会は令和元年六月二日に主婦会館プラザエフで開催されました。出席者六十二名の会合となりました。第一部の「定期総会」は鈴木信之支部長が議長となり平成三十年度の事業及び決算報告、令和元年度の事業計画（案）及び予算（案）役員改選（案）が承認されました。第二部の「懇親会・歓迎会」は、菅野憲理事の司会で開催されました。ご来賓の上杉邦憲名誉会長と大滝則忠会長よりご祝辞を頂きました。

館長より今年の新入寮生がゼロであることが報告された。新入奨学生の花輪みやびさんから自己紹介と抱負を述べてもらいました。続いて、名誉会員の下條泰生様のご発声で乾杯し懇親会に入りました。宮坂孝夫副支部長の花笠締めで盛況のうちに終了しました。

芋煮と地酒を満喫の園遊会

小石川後楽園の涵徳亭は、改修工事後全館貸切中止となりました。そのため、主婦会館プラザエフで令和元年十一月三日に開催されました。定刻に林常子理事の司会で始まりました。

ご来賓は、上杉邦憲様ご夫妻、下條泰生名誉会員、和田豊やまがた育英会業務執行理事でした。県民歌「最上川」を斎唱後に、上杉邦憲名誉会長、大滝則忠会長より挨拶をいただきました。置賜から材料を取り寄せ

て実行委員の方々が調理した芋煮や玉コーンヤクと地酒やワインを味わいました。

郷里の物産の販売は、出席者のご協力で完売でした。お楽しみ抽選会では、会員の羽隅弘宣様が壱等賞を獲得しました。その後に、全員で唱歌「ふるさと」を合唱して、

川合勝雄副支部長の閉会の挨拶と一本締めで散会しました。

出席者の人数は寮生四名を含めて六十名でした。寮生は、大学の学園祭のため出席者が少なかった。開催時期を検討したい。同伴者数が十五名で今年も大変多かったです。実行委員の皆様、協力有難うございました。

▼東京支部役員名簿(理事・監事)

支部長	鈴木 信之	副支部長	川合 勝雄	宮坂 孝夫
理 事	板垣 史朗	太田ひろみ	加藤 国雄	加藤 正憲
	菅野 憲幸	倉田 和子	五雲寺 卓	近藤 郁子
	佐藤 好明	澤田美根子	鈴木 吉助	羽隅 弘宣
	林 常子	平山 英三	平山 和博	渡邊 忠義
監 事	赤井 淳一	片平 善造		
退任理事	小松 浩	佐藤 憲一		

会員の本の紹介

Joint issue**2か国以上の共同発行切手**

姫路工業大学名誉教授 小谷野 猪之助

発行所 文芸社

【紹介者 米野宗禎】

ご承知の通り、令和元年に米沢有為会は創立130年の歴史を重ねました。小生創立120年の記念行事を前にして諸先輩の煽てもあって、下働きをさせて頂いた事、そして寄宿生・奨学生OBでなくとも会員OKということを知り「同期（米沢西高）の桜」に入会をしてもらいました。

その一人小谷野大兄から4月次のような文を添えて、自費出版の“切手ファン垂涎の一冊”国と国との「絆」を一同に厳選収録した書物が送られてきました。

小生宛ての手紙は掲載の通りです。

【(手紙文)】

米野宗禎様

すっかりご無沙汰しております。先日は久しぶりにお電話で懐かしい声を聴き嬉しく存じました。体の故障で興譲館関係の会にまったく出られなくなってしまったことを心から残念に思います。

さて、かなり長い時間と多大な労力を費やしてやってきました『切手の研究』（趣味）の一部がようやく上梓の運びとなりましたので、一部贈呈させていただきます。まだ不十分なところが多々ありますが、ご笑読いただければ幸いに存じます。切手はすべて原寸大でオールカラーの印刷、使用紙も上質紙という我儘を出版社に認めてもらいましたので、想定以上の立派な本ができたと喜んでいます。

また、世界に類のない本であると自負しています。取り上げた共同発行切手の組数は私の収集した全組数の四分の一の程度ですので、余命と気力が続ければ『続編』ないしは『増補版』を書きたい願望を持っております。しかしこれは上記二つ（余命と気力）の点で多分無理でしょう。それに、『こんな「遊び（？）ばかりしていないで「専門」の分野でもっと独創的な、小谷野しか書けない本（この本もそうですが）を書きなさい』という囁きも聞こえています。

（追伸）本書は自費出版ですので、周囲の関心がありそうな方に宣伝していただければ幸いに存じます。

早々

2019年4月19日 小谷野猪之助

**国と国との「絆」を一堂に**

国交記念や歴史的建造物から、戦争や宗教、美術・工芸まで。切手コレクターとして名高い著者が秘蔵のコレクションの中から厳選収録。

切手ファン
垂涎の一冊

文芸社 定価 (本体2,500円+税)

【内容紹介】

2か国(以上)が、双方の十分な打ち合わせと合意のもとに、同一テーマについて同一図案/形状/サイズ/刷り色/色調の切手を同一年月日に発行する「共同発行切手」のコレクションを、発行動機により分類して紹介する。

(著者プロフィール)

1936年札幌生まれ。1965年東京工業大学大学院理工学研究科博士課程修了。同年同大学助手。1976年、分子化学研究所助教授。1992年、姫路工業大学教授。研究テーマは、化学反応、動力学、光化学、放射光化学。小学六年の頃から切手収集を始め、十年ほど前から本書のテーマである「共同発行切手」の収集に情熱を注いでいる。

新聞記事より

元日本兵ミャンマー支援30年 留学生に奨学金を

毎日新聞 2019年7月25日 東京夕刊

埼玉県・鶴ヶ島市、五輪で選手団受け入れへ

し、それまで受けた恩を返す事

を決めた。1989年「今泉記念ビルマ奨学会」を設立。

以後、約二十年間で日本への留

学生計178人に1人当り月4

万円を支給した。現在は現地の

大学生に資金援助する形で、総

額2億円以上の私費を投じて支

援を続ける。

た程の犠牲者を出し、旧日本軍による無謀な作戦の代名詞として語り継がれる。1944年、軍して現地の人々に命を助けられた恩を返そと、ミャンマー支援を三十年以上続いている人物がいる。

奨学金制度を私費で作り、多くのミャンマー人留学生を支え

てきた埼玉県鶴ヶ島市の今泉清

詞さん（九五歳）。

その縁で市は2020年東京五輪パラリンピックのミャンマー

選手団のホストタウンになつた。

「平和の祭典」を象徴する交流

に、今泉さんは「両国の仲が深まる事が私の願い」と話す。

追い詰められ、現地の人の家にかくまわれて寝台の下に隠れた。「ここに日本人はいないか」「いないよ」。同じように助けられた戦友は多いという。

「かくまつた事が分れば、その人も危ない。命懸けで助けてくれたおかげで生きている」

戦後、新潟県出身の

今泉さんが裸一貫で

飛び込んだのが鶴ヶ

島市の農地開拓だつた。酪農から、さら

に土地を元に事業を

展開し成功させた。

「作戦」から約三十年

たち初めて戦友の慰

靈にミャンマーを訪

れた時のこと。

「戦争で迷惑をか

けたから『日本人は

怖れ』と言われるのではないか

と、恐る恐るだった。だが実

際には、住民は一緒に手を合わ

せて熱心に祈り、食事でもな

してくれた。涙が出るほど感激



ミャンマーとの縁が深まることに笑顔を見せる今泉さん

II埼玉県鶴ヶ島市の自宅で

元日本兵

ミャンマー支援三十年

インパール作戦は、補給を軽視して「白骨街道」と名付けられ

鶴ヶ島市五輪でミャンマー選手団受け入れへ

夏至の日の一日花の黄色かな

サンダルの緒の型残す日焼けかな

濱田 扇風

踊り子が振り向くやうに合歓の花

佐野 真

秋霖や古屋カフェの黒き梁

片山 丹波

神無月夕焼けを背に富士座る

松原 薫子

二の酉や重く着込んだ人の列

太田 甘美

登坂かりん

(二〇一九年年度作品から)

俳句同好会 「漆の実」

連峰の富士のみ白き二月来る

小山八州史

啓蟄や古びし野良着掛けたり

池田弁之介

トノ・エッセイ(4)

「歴史は駆伝のよう」その2 上杉邦憲

米沢有為会 名誉会長

10月31日未明に起きた火災により、首里城正殿が焼失しました。沖縄県令上杉茂憲や有為会創設者で首里城保存に奔走した伊東忠太に所縁の深い首里城焼失のニュースはシヨツクで、一日も早く復旧することを祈つてやみません。

下の写真は、茂憲が沖縄から戻つて5年後の明治21年頃に撮られたものと思われますが、向かつて右から2番目の長女覚(サト)子は、明治26年に満14歳8ヶ月で4歳年の上の旧岡山池田藩の長男池田勝吉に嫁ぎます。この勝吉は大変な放蕩者で、明治28年に覚子との間に生まれた娘鄰(チカ)子の他に戸籍に載つているだけでも16人の子供がいて、覚子は辛い毎日を過ごしていたようです。実家の上杉家はそんな覚子を折にふれ、娘鄰子とともに本郷の上杉邸に招いて慰めていました。

鄰子は大正の初め頃、滝澤榮一の三男正雄に嫁ぎます。2024年に発行予定の新一万円札の肖像に決まつた滝澤榮一(1840~1931)は、言うまでもなく明治から

昭和にかけての大実業家で、大蔵官僚を経て、多くの銀行や多種多様の会社設立に関わったことは良く知られています。その三男である正雄(1888~1942)は父の後を継いで、製鐵会社、造船所等々多くの事業に携わりました。

大正13年(1924)石川島重工業(現IHIの前身)が中心となって株式会社石川島飛行機製作所が創立され、瀧澤正雄はその初代社長に就きます。昭和9年(1934)帝国陸軍の依頼で石川島飛行機が開発した複葉の練習機(95式一型練習機)は「赤とんぼ」の愛称で親しまれていました。

石川島飛行機は、現在の中央区月島から立川市に移転した後、立川飛行機株式会社と改称して、多くの航空機開発・生産を行いましたが、その中には東京帝国大学航空研究所と共に開発し、当時の無着陸長距離飛行世界記録を達成したキ77(A-26)が含まれます。また、糸川英夫が式戦闘機「隼」のライセンス生産を行いました。

私が宇宙研に入った当時(昭和41年1966)富士精密はプリンス自動車と名前を変えていましたが、やがてプリンス自動車は日産自動車に合併、そして日産自動車のロケット部門は平成12年(2000)に株式会社IHIの100%出資会社IHIエアロスペースに移ります。

この間の歴史を時系列で見ると「茂憲の孫・鄰子の嫁いだ瀧澤正雄の設立した石川島飛行機(現IHI)が糸川英夫の「隼」を量産し、糸川英夫が始めたロケット研究に私が加わり、現在そのロケットをIHIエアロスペースが製作している」正に歴史は駆伝のように繋がっていくと感ぜざるを得ません。

新年会・予議会のご案内

日時…令和2年2月8日(土)
12時半~14時半(12時受付開始)
会場は主婦会館プラザエフ
多数のご参加をお待ちしています

編集後記

▼東京鷹桜同窓会(長井高校)の会長工藤美知尋さんは会報に東京興譲館寮の募集要項を掲載され長井高校の3年生全員に配布して下さいました。



編集委員メンバー
委員長……川合勝雄
米野宗禎/佐藤好明
鈴木信之/倉田和子
太田ひろみ/濱田吾愛
近藤郁子/宮坂孝夫

▼学生時代に「太平洋戦争」

の講義でインパール作戦を知り、高木俊朗著の『抗命』を読みました。インパール作戦に従軍され、敗走中に地元住民にかくまわれて生還された今泉清詞さんのその後の足跡を毎日新聞で読み、引用しました。

▼

「ペシャワール会」の現地代表で医師の中村哲さんは、医療支援に限界を知り、干ばつで砂漠化した大地を地元住民の協力で用水路を作り緑の大地にした。家族と一緒に故郷に戻り農業によって三度の食事が取れると感謝されたことに喜びを感じると述べられている。

「大国は小国アフガニスタンに爆弾を落とし、私は地下を掘る。」日本政府は、自衛隊の海外派遣で給油活動をし、間接的には空爆を支援した。治安が悪化し、自動車に書いていた日の丸も消して対応しているさなかに銃撃され亡くなられた。(K.K)